

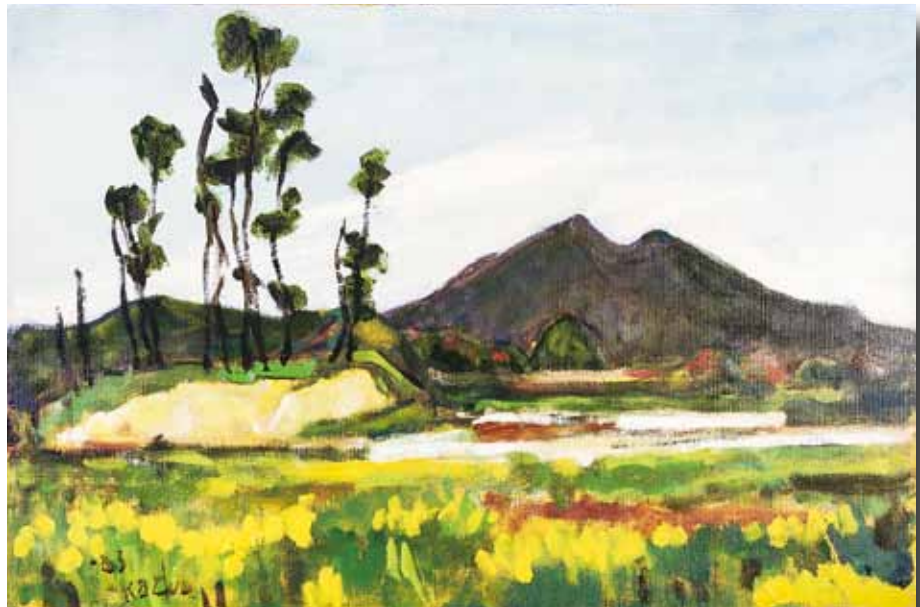


虹懸

特集

星総合病院
スポーツ外来の
ご案内

開設91周年記念式典
ドクターからのアドバイス
介護職員初任者研修
辞令交付式
看護師特定行為
アドバンス助産師
施設ニュース
トピックス



売れ残った工業団地 (M30、2003)

星 一雄

西醫



新華

三春町第1保育所です。
昨年の四月一日から星総合病院が三春町より指定管理を受け、保育士・看護師・管理栄養士・調理員・事務職と所長の二十一名で運営しています。星総合病院に運営が変わり、どうなるのだらうと保護者の皆さんや地域の方々の不安や期待を背負って運営してきましたが、保育所の様子をフェイスブックで発信したり、玄関の掲示板に写真で保育の様子を公開することなどで、保護者の方々に安心して頂くようにしてきました。

我が保育所が力を入れているのが、地域と共にたくさんの愛情でひとり一人を大切に見守り、共に喜び合うことです。預かるだけの保育所ではなく、保育士の特徴を生かした、人と人との関わりの深い保育を柱に、保育士が子ども達の先頭に立つて身体を動かさ、お互いに楽しみながら、子どもが子どもらしくおもしろい遊び、言いたいことが言え、子どもたちが充分満足できる保育を目指しています。また、地域の施設との交流や、小・中・高校生の職業体験・地域行事への積極的な参加、更に保護者と共に夏祭りや運動会等の保育所の行事で、あらゆる体験を積み重ね、人との関わりから、思いやる心や一緒にやることの楽しさを感じとり、どのような状況にも対応できる子に育って欲しいと願っています。

まだまだやるべきことはたくさんあると思います。これからも子どもたちの為、地域の為、職員一丸となつて、誰もが通いたくなる保育所を目指し努力していきたいと思ひます。

三春町第1保育所
所長 佐藤 正敏

当院スポーツ外来の ご案内



星総合病院
整形外科統括部長
兼リウマチ科部長
遠 藤 康二郎

皆さんがスポーツ外来と聞いて何を想像するでしょうか？

スポーツによる傷害の治療がまず思い浮かぶと思います。実際スポーツ医学の領域では整形外科がかなりの領域を占めています。しかしその裾野は広く、スポーツに伴う問題は循環器科や呼吸器科はもとより、発育期には小児科、思春期の女性では運動性無月経など婦人科の領域まで及ぶことも珍しくありません。ですから他の診療科との連携ができる総合病院でスポーツ外来を行う意義はとても大きいと考えています。

当院のスポーツ外来では広い意味でのスポーツ傷害を対象とすることを意識しています。競技者だけではなく学童期から中高年までさまざまなレベルでのスポーツ傷害に対応が必要だと感じています。現在の高齢化社会では中高年のスポーツ愛好家も多く、長くエンジョイできる工夫も大切です。また震災以降の福島県では学童期の運動量不足が指摘されておりますが、現在スポーツ傷害を負っている子には早期の復帰を果たせるような手助けを、スポーツをためらっている子には参加しやすい環境ができればと考えています。

スポーツ傷害の診断は通常の整形外科疾患と比較すると再現性が難しい点で困難です。ですから丁寧な問診が欠かせません。また既往歴も重要です。身体所見では傷害部位を特定するためだけではなく、その原因が関節弛緩性（関節が緩いこと）にあるためなのかタイトネス（筋肉の柔軟性不足）によるものなのか、はたまた傷害を生じやすいフォームなのか総合的に判断することが求められます。現在の画像診断は障害部位を特定するため単純X線撮影だけではなく、CTやMRI、エコーを使用することができるため比較的容易ですが、画像所見がない軽度の障害でもスポーツをする上での障害になり得ます。



整形外科のスポーツ傷害に対する治療の進歩で欠かせないのが侵襲の少ない関節鏡を用いた治療とリハビリテーションです。

関節鏡は膝関節の治療で導入されて以降、周辺機器の開発改良が加えられ肩関節や肘関節、手関節や足関節などの小関節にも用いられるようになりました。また最近では導入困難と思われていた股関節にも応用されるようになり関節唇損傷などのスポーツ傷害の治療に期待されています。手術侵襲の少なさは健常組織のダメージを少なくすることに繋がり術後のリハビリテーションを早めることが可能です。結果として多くの選手のスポーツ復帰を手助けできるようになりました。しかし整形外科医が小手先の技術にのみこだわることは、全体像を把握することが大切なスポーツ復帰にとって片手落ちとなることがあり注意が必要です。それぞれの患者さんに手術だけではなくどのような治療が必要なのか、本人の希望を踏まえて治療戦略を練ることが大切だと考えています。



当院のスポーツ外来はリハビリテーションを治療の中心としています。外来ではセラピストが同席して患者さんの希望や治療方針や回復の度合いを確認しながら治療を進めています。スポーツ復帰を目指したリハビリテーションのことをアスレチック



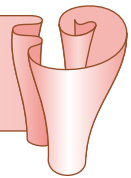
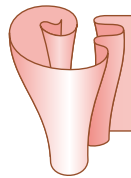
クリハビリテーションと言います。日常生活動作への復帰を目指すメディカルリハビリテーションとは異なります。もともとスポーツ選手は体力レベルが極めて高い水準にあるため健常側で代償でき、訓練を多くしても疲れにくく、その効果が大きく回復が早いことが前提となります。さらにスポーツ復帰への意欲が極めて強くなりリハビリテーションに対する意識が高いため訓練過多になることも多く注意が必要です。また治療期間が長期にわたるとチーム内でのポジションがなくなってしまうこともあるため早期のリハビリテーションを安全な範囲で開始する必要があります。ただし高い意欲と焦りから早過ぎるスポーツ復帰は再受傷の可能性が高く、結果として完全なスポーツ復帰を遅らせてしまうので患者さんには十分に説明し納得して頂く必要があります。そのため医療チームとしては障害部位については安静を含めてメディカルリハビリテーションを行い、治療期間中の健常部位の能力低下を極力さける配慮も必要だと感じています。当院では「かがやき健康館」にプールがありますので最大限に活用しています。水中運動は浮力により相対的に体重が軽減されるので下肢や体幹の傷害でも早期から容易に行えます。また水の粘性によって適度な抵抗運動が可能になります。今後も当院の特徴を生かしたスポーツ傷害に対する治療を提供できればと考えています。

早期の安全なスポーツ復帰をはかるためには医療スタッフと患者さんの間だけでなく、その家族、チームメイト、指導者などの理解や協力が不可欠だと感じています。また病院への受診はスポーツ競技者にとってハードルが高く、我慢しながらスポーツを続けて傷害がかなり進行して受診されるケースも珍しくありません。早期のうちに治療ができれば元のスポーツレベルへの復帰が可能なことが圧倒的に多く、進行したスポーツ傷害は元通りに治ることが少ないのが現実です。そのためスポーツ傷害は治療だけではなく予防が大切です。今後は外来での対応だけではなく、チームの検診や指導者への啓蒙活動も必要となりますのでリハビリスタッフとともに院外での活動も視野に入れていきます。



当院のスポーツ外来は千葉大学整形外科の木島丈博先生にお手伝い頂きながら、エネルギッシュな運動器のリハビリスタッフと共に行っております。診療日は毎月第2と第4土曜日の午後ですが、紹介状がなくても受け付けておりますのでスポーツ傷害でお困りの方はお気軽に受診して下さい。





4月21日、星ヶ丘体育館において「開設91周年記念式典」を挙行し、職員約580名が出席しました。星北斗理事長より「果たすべき役割や求められていることに応え、皆で強い意識を持って仕事をしていこう」と式辞があり、続いて表彰式を行いました。

受賞者を代表して、星総合病院 看護部 橋本ヨシさんが「周囲の協力や支えにより現在まで勤めることができ、とても感謝しています」と謝辞を述べました。

表 彰 者 (敬称略)

特別 表彰

ベストトレーニー賞 (昨年度各施設における実習生・研修生のうち、他の規範となる態度で研修をされた方に贈られる)

佐々木悠子 (ポラリス保健看護学院 4年→平成28年度 星総合病院入職)
 ／非常に積極的に実習に取り組み、状況に応じた行動ができていた。
 日々の振り返りもしっかりと行い、次につながる実習ができていた。

ベストトレーナー賞 (昨年度各施設における実習・研修を担当し、優れた指導を行った職員のうち、実習生・研修生からのアンケートで多く挙げた者が対象となる)

飛澤知津子 (星総合病院 看護師)
 ／実習生にとって相談しやすく、能力に応じた的確な助言、指導があった。
 病棟内だけでなく、多職種との連携が図れており、良い模範となった。



年間エース賞 (勤務成績が職員の模範となる者、業務上有益な発明・創意工夫をした者に贈られる)

三春町第1保育所 保育スタッフ
 ／保育に対する熱い情熱と抜群のチームワークで、保護者や地域の方々から高い満足度と評価を得、地域の保育レベルの向上に貢献した。

永年勤続 表彰 (86名)

40年表彰 (2名)

橋本 ヨシ (星総) 飯塚 京子 (星丘)

35年表彰 (9名)

鈴木 弘子 (星総) 三部 孝子 (星総) 遠藤 弘子 (星総) 工藤 直子 (星総) 兼子トモ子 (星総)
 鈴木 恵子 (星丘) 猪越砂登美 (星丘) 武田千代子 (星丘) 大内 京子 (三春)

30年表彰 (6名)

加藤 洋子 (星総) 渡辺 順一 (星総) 大越けさ子 (星丘) 大柴 笑子 (星丘) 芳賀祐美子 (横塚) 影山 啓子 (しずか)

25年表彰 (11名)

平井 香織 (星総) 丹野 距子 (星総) 西間木久美子 (星総) 別府 禎子 (星総) 玉井 礼子 (星総) 榮 なおみ (星総)
 小松 博子 (星総) 渡辺美保子 (学院) 鈴木 純子 (星丘) 大原 和子 (星丘) 佐藤ケサ子 (第1)

20年表彰 (27名)

佐久間弘子 (星総) 後藤 健 (星総) 斉藤 弘樹 (星総) 曾我 順子 (星総) 小石沢ゆかり (星総) 石井 好子 (星総)
 永崎真利子 (星総) 小林 聡子 (星総) 嶋田百合香 (星総) 條 有里子 (星総) 佐久間宏江 (星総) 星野 昭恵 (星総)
 根本 幸治 (星総) 遠藤 直子 (星総) 安齋 礼子 (学院) 高梨 幹也 (星丘) 佐々木マユミ (星丘) 伊藤 朝子 (星丘)
 熊田 純江 (星丘) 加藤ゆかり (星丘) 田辺 晃子 (星丘) 本田 和子 (星丘) 遠藤志のぶ (オリ) 遠藤 則子 (オリ)
 熊田みどり (オリ) 鈴木フミ代 (三春) 渡邊 麻里 (第1)

15年表彰 (14名)

本田 明弘 (星総) 石岡 孝子 (星総) 斎藤 裕子 (星総) 根本 文江 (星総) 佐藤 奈奈 (星総) 赤沼 エミ (星総)
 加藤 和枝 (星総) 遠藤 朋子 (学院) 石井 智博 (星丘) 佐藤久美子 (星丘) 原田 聡子 (星丘) 本田 明子 (星丘)
 新田 義幸 (星丘) 河治 誠 (三春)

10年表彰 (17名)

秋葉 陽子 (星総) 佐瀬 道郎 (星総) 小林 亨 (星総) 緑川 鮎美 (星総)
 加藤 真希 (星総) 桐生 亜紀 (星総) 鈴木 淳子 (星総) 小針ともえ (星総)
 吉田恵理子 (星総) 安達 実樹 (星総) 佐藤 孝洋 (星丘) 酒井 良子 (星丘)
 熊田 康子 (星丘) 舟見 香里 (星丘) 安部 三喜 (星丘) 山川美恵子 (オリ)
 戸松 明子 (三春)

※星総…星総合病院、星丘…星ヶ丘病院、三春…三春町立三春病院、横塚…ほし横塚クリニック
 オリ…介護老人保健施設オリオン、学院…ポラリス保健看護学院
 しずか…星訪問看護ステーションしずか、第1…三春町第1保育所



『街こおりやま』『ドクターからのアドバイス』コーナーに連載しました

街こおりやま社より毎月発行されている『街こおりやま』に「ドクターからのアドバイス」というコーナーがあります。2015年9月から12月まで星総合病院の4人の医師が担当しました。

今回は2015年9月号、関 茂樹医師の「皆さんは尊重されるべき価値観を持っていますか？…緩和医療医のつぶやき…」と2015年10月号、片方直人医師の「乳房セルフチェックと乳がん検診」をご紹介します。

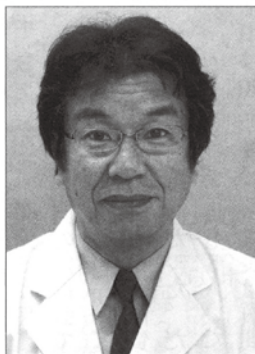
2015年
9月号

Advice

from Doctor

◆ドクターからの
アドバイス

皆さんは尊重されるべき
価値観を持っていますか？
…緩和医療医のつぶやき…
星総合病院緩和医療科
部長 関 茂樹



お医者さんの出生証明書により人はこの世に認知され、死亡診断書により埋葬を許可されてその生を終えます。医療とはこの出生証明書と死亡診断書の間に介在する様々な行為であり、皆さんは嫌でも一生の間に、いろんな医療機関、医療従事者と関係を持つことになります。医療はほとんど優しくなっています。「お客様は神様です」の流れを汲む「接遇」は勉強会を実施しない医療機関は皆無で、この流れが「患者さま」という言葉を生みだしました。よく説明し、必ず承諾書をもらってから医療行為が必須とされ、入院時に署名させられる書類の多さに驚かれた方も多いと思います。これは医療者が守り、尊重しなければならぬのは患者さんの価値観であるとされているからですが、それを自覚している患者さん・ご家族が大半のように

思います。要は「お任せします」ではないということなんです。歳を取って「早く迎えが来れば…」と茶飲み話をするあなたが癌になった時、泰然として受容できるか？誰もが必ず生を終え（これはある意味福音でもあるのですが）、この避けれない時をいかに迎えるのかは価値観（死生観）そのものです。死のその時までである生を支援するのが「緩和医療」です。私のはかない小さな夢、それは：「先生、私はこんな風に死んで逝きたいのだけれど、一つよろしく頼みます」という患者さんにたくさん会えるようになることです。「そんな七面倒くさい、縁起でもないことを考えていられるか！」という方、ご安心ください。そんなあなたにも今の医療は十分に優しいです。しかしそれがあなたの価値観を尊重しているか？それを私は保証しません。

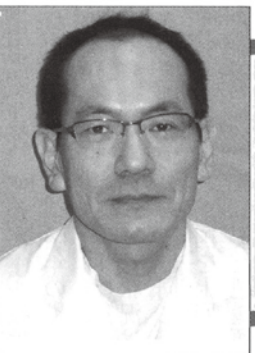
2015年
10月号

Advice

from Doctor

◆ドクターからの
アドバイス

乳房セルフチェック
と乳がん検診
星総合病院外科
片方直人 先生



女性がかかるがんの中で一番多いものは何でしょうか？それは乳がんです。では、自分で発見できる可能性のあるがんは何でしょうか？それ乳がんです。乳がんは年々増加してきており、現在、女性の15人のうち1人が一生のうち乳がんにかかるといわれています。乳がん発症を予防する方法はありませんが、乳がんの多くは不治の病ではありません。しこりが小さく（2センチ以下）、リンパ節や他の臓器への転移がない状態で発見できれば、90%以上の方が手術と適切な術後治療（薬物・放射線）により治癒します。もちろん、乳房温存の可能性も高くなります。乳がん自覚症状のほとんどはしこり触知です。乳房やワキの下をなでたときに感じる、中心に芯のあるぼんやり盛り上がったしこりや、表面がデコボコした硬いしこり。そのほとんどは痛みを伴いません。

仰向けに寝た状態で、指の腹（人差し指、中指、薬指）を使って、乳房の表面全体をくまなくなでて、確認してみましょう。また鏡を見ながら、乳房皮膚がくぼんだり、赤く腫れたりしていないか、乳頭から分泌物がないかをチェックします。セルフチェックは月に一度、月経が終わって1週間後に行うのが最適です。さらに40歳になったら2年に一度、検診施設でマンモグラフィ併用検診が受けられます。そこではマンモグラフィ撮影と医師による視触診を行います。マンモグラフィは、乳房専用のレントゲンです。触診では分からないミリ単位の小さなしこりや悪性の石灰化、乳腺の変形などを見つめます。早期発見のために自分ができること、それは毎月のセルフチェック（自己視触診）と、乳がん検診をきちんと受けることです。

次号では、2015年11月号の遠藤康二郎医師の「慢性の痛みについて」と2015年12月号の金子博智医師の「脚の病気？血管の病気」をご紹介します。

介護職員初任者研修 受講者募集

介護の基礎を学び、専門知識と技術を習得できる資格です。
今後ますます需要が高まる介護の仕事にチャレンジしてみませんか？

経験豊富な講師が丁寧に指導、シミュレーターを使った実践に近い
内容で介護施設の見学も実施します。

研修日程 平成28年6月11日(土)～11月19日(土) 計22日間
土・日隔週開講 130時間(9:00～16:10)

定員 20名

受講費用 ￥75,600(テキスト代込)

募集期間 平成28年4月1日(金)～5月中旬(お問合わせ下さい)

対象 18～65歳未満の男女

申込方法 ①当院ホームページから履歴書をダウンロード

②必要事項を記載後、郵送にてお申し込みください

(〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号

公益財団法人 星総合病院 教育研修センター 迄)

※厚生労働省大臣指定講座教育訓練給付制度対象

条件を満たせば、資格取得後に受講費用の20%がハローワークから
給付されます。

詳しくはハローワークにてご確認ください。



辞令交付式

4月1日、メグレズホールにおいて平成28年度辞令
交付式を挙行了しました。

昇格21名、兼務6名、任用替9名、異動22名、採用
94名(うち新採用69名)。星 北斗理事長が代表者に辞
令を手渡し、「役に立ちたいと思う気持ちを忘れずに、
患者から愛される人になってほしい」と訓示しまし
た。

新入職員を代表して
理学療法士の角谷 篤
さんが、「思いやりの
気持ちを持ち、地域
の方々の支えになれる
よう日々精進してい
きたい」と誓いの言
葉を述べました。



星総合病院 看護師特定行為研修開講

厚生労働省から指定研修機関の指定を受け、
4月より開講しました。

当院3名の看護師が受講許可を受け、病院長
補佐兼形成外科部長の佐瀬道郎先生を責任者
として、創傷管理関連の1区分2行為を1年間
研修していきます。



星総合病院 アドバンス助産師の認証を受けました

助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー/CLoCMiP)レベ
ルⅢの認証制度により、星総合病院の4名の助産師がアドバンス
助産師の認証(一般財団法人 日本助産評価機構)を受けました。

妊産褥婦や新生児に対して良質で安全な助産とケアを提供する
ため、今後も継続して助産実践能力の維持・向上に努めます。



施設ニュース

三春町立三春病院

助産師外来(産後ケア・思春期相談) 開始

4月25日

毎週月曜日「助産師外来」を開始しました。産後の回復や育児、思春期の方(ご家族)の相談に対応いたします。お気軽にご相談ください。

詳細、申込用紙は三春病院受付(当財団HP www.hoshipital.jp 三春病院のページ)、三春保健センターにあります。

お問合せ

電話 0247-73-8155

メール miharu@hoshipital.jp



ポラリス保健看護学院

海外研修(オーストラリア)

4年生(16回生)28名は4月13日から5泊7日間に渡りオーストラリア、ブリスベンへ研修に行ってきました。

今回は現地でのホームステイを体験し、ホストファミリーと交流を図り、文化や生活についてより深く学ぶことができました。また、AUCの看護大学生と福祉施設の住民の方とも交流を図りました。日々の状況を毎日フェイスブックにて報告、在校生やご家族にお伝えしました。(ポラリス保健看護学院フェイスブックにてご覧いただけます)



養護老人ホーム三春町敬老園

美容教室開催

3月22日

資生堂の方による「いきいき美容教室」が開催されました。

入園している女性15名が参加され、お肌のお手入れ方法やお化粧の仕方を学びました。楽しくきれいにお化粧して、笑顔がさらに輝いていました。



星ヶ丘病院・介護老人保健施設オリオン

介護教室開催

3月26日

第7回介護教室を開催し、利用者のご家族や一般の方20名が参加されました。

臨床心理士による『ストレスについて～セルフチェックしてみよう～』と題した講義の後、看護師・理学療法士による『動いて・笑ってストレス解消!』と題した笑いヨガを取り入れた体験メニューが行われ、最後に今年度3回すべての教室に参加された2名の方にオリオンから賞状と記念品が贈られました。



三春町第1保育所

修了式

3月19日

指定管理となって初めての修了式を迎えました。佐藤正敏所長から「この1年の成長は目覚ましく、小さい組さんの面倒もしっかり見たり、いつでもクラスの仲間と一緒に楽しそうに活動し、負けると悔しくて涙を一杯流し、勝てばはじけるように喜び、子どもらしさ一杯に身体で自分を表わしてくれました。何事も最後まであきらめず笑顔で頑張る姿はとてもステキでした。そんなみんなの笑顔が大好きで、みんなの笑顔を見るのが楽しみで、毎日保育所に来ることができました。ありがとう」と祝辞が送られました。保護者代表の謝辞では初めは不安を感じていたが、当財団が管理となって良かったとお言葉をいただき、これまでの努力が報われた思いでした。スライドに映し出された成長の過程を振り返り、ひとまわりもふたまわりも大きく頼もしくなった子供達を囲んでの思い出深い式となりました。



トピックス

三春病院長表彰

警察嘱託医として
検視業務への貢献が
認められ、三春病院
渡辺直彦病院長が
感謝状を授与されま
した。



田村警察署長 齋藤裕司様
(写真左)と渡辺直彦病院長

芳賀・小原田地域包括支援センター 営業日変更のお知らせ

4月から定休日の木
曜日が土曜日に変更に
なりました。事業内容
に変わりはございませ
んの、これまでどお
りご相談ください。

営業日 月曜日～金曜日
午前8時45分～午後5時15分
土曜日 午前8時45分～午後12時30分
定休日 日曜日・祝日・年末年始(12/31～1/3)
土曜日午後・第4土曜日
電話024-941-1121

未来館newsに片方先生 (星総合病院)の講演会の 様子が掲載されました

福島県男女共生センター広報誌『未来館
news』2016 vol.58に星総合病院外科統括
部長 片方直人先生の 女性のための健
康講座『乳がんを知る。検診に行く。』と題
した講演の様子が掲載されています。

事業レポート

女性のための健康講座「乳がんを知る。検診に行く。」開催報告

日時 平成27年11月21日(土) 講師 星総合病院外科統括部長片方直人先生

現在、乳がんは日本の女性がかかるがんの中で最も多く、40～50歳代
におけるがん死亡原因のトップです。乳がん発症の原因として食生活を含
めた生活習慣や一部には遺伝なども複雑にかみあっています。アルコール回
転を控え、閉経後の肥満を避けるよう運動量を増やすことでも発症リスクを
低下できるといわれています。そして何よりも、早期発見・早期治療のため
に乳がん検診を受けることが大切です。

参加者の声

・「自分のできる範囲での予防や治療内容を知ることができました。」
・「治療の状況などの貴重な資料を知ること、乳がんの危険性と検診の重要
性を実感しました。」



全国保険医新聞に 堀川先生(星ヶ丘病院)の インタビューが 掲載されました

『全国保険医新聞』2016年3月25日第
2675号に双葉郡医師会会長を務める星ヶ
丘病院内科診療部長 堀川章仁先生の「原
発事故被災地の今」についてのインタビュ
ー記事が掲載されました。

震災から5年、今の想いが特集されてい
ます。



ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行／公益財団法人星総合病院
編集／法人広報部
発行日／平成28年5月
住所／〒963-8501
郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星総合病院 在宅介護支援センター
TEL 024-983-5515
- ほしのご保育園
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三7番地
TEL 024-952-6411
- 星ヶ丘訪問看護ステーション
TEL 024-962-1711

居宅介護支援事業所星ヶ丘
TEL 024-952-6414

- 星ヶ丘保育園
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三7番地3号
TEL 024-951-0788
- 介護老人保健施設 オリオン
〒963-0211 福島県郡山市片平町字三2番地
TEL 024-952-6413
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地
TEL 0247-62-3131
- 三春訪問看護ステーション
TEL 0247-73-8270
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-7778

星訪問看護ステーション
TEL 024-956-2322

- 芳賀・小原田地域包括支援センター
TEL 024-941-1121
- 星訪問看護ステーション しずか
〒963-0209 福島県郡山市郡町5丁目18番地 ウエストバーク102号
TEL 024-983-6410
- 養護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618
- ポラリス保健看護学院
〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1
TEL 0247-62-3839